

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年4月15日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年4月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【6号機 増設淡水化装置原水タンク(J)の入口弁固着ぎみについて】 6号機 増設淡水化装置原水タンク(J)の入口弁が固く、操作しづらい状態となっている。 入口弁が固着ぎみではあるが、弁の開閉はでき機能に問題なし。 今後、点検・修理予定。	GⅢ	4月10日
2	【雑固体廃棄物焼却設備 灰充填装置(A)の「ドラム缶蓋開閉機A在荷異常」警報発報について】 雑固体廃棄物焼却設備の灰充填装置(A)にて灰充填作業中、「ドラム缶蓋開閉機A在荷異常」の警報発報を確認。 内部監視画面モニターにて、ドラム缶蓋開閉機の爪3本のうち1本が空ドラム缶の蓋と干渉(引っ掛かり)している事を確認。 調査の結果、灰充填装置自動運転の際、空ドラム缶と灰が充填している実ドラム缶でドラム缶蓋開閉機下での停止位置にずれがあることが判明。 今後、灰ドラム缶搬送コンベアのセンサ類について点検予定。	GⅢ	4月10日
3	【6号機 残留熱除去系(A)ポンプ第2排水弁の閉状態での固着について】 6号機 残留熱除去系(A)ポンプ第2排水弁が閉状態で固着していることを確認。 当該弁は、ポンプ水抜き時に開操作が必要であるが通常時は操作しないため、閉状態で固着していてもポンプ運転に影響なし。 今後、点検予定。	GⅢ	4月11日
4	【サブドレン揚水ポンプNo. 55の過負荷による停止について】 免震重要棟集中監視室の監視盤にサブドレン揚水ポンプNo. 55「揚水ポンプC055過負荷トリップ」警報が発生し、ポンプ停止を確認。 その後、揚水ポンプの動力電源を停止し、当該警報の消灯を確認。 なお、隣接の揚水設備で運用可能なため、当該ポンプ停止による影響はなし。 今後、詳細原因調査・対策予定。	GⅢ	4月11日
5	【サブドレン揚水ポンプNo. 34の過負荷による停止について】 免震重要棟集中監視室の監視盤にサブドレン揚水ポンプNo. 34「揚水ポンプC034過負荷トリップ」警報が発生し、ポンプ停止を確認。 その後、揚水ポンプの動力電源を停止し、当該警報の消灯を確認。 なお、隣接の揚水設備で運用可能なため、当該ポンプ停止による影響はなし。 今後、詳細原因調査・対策予定。	GⅢ	4月12日
6	【使用済燃料共用プール2次系冷却水温度調節計(A)計器異常を示すランプ点灯について】 使用済燃料共用プール2次系冷却水温度調節計(A)の表示切替釦を押してもデジタル指示値「19.6℃」に対しデジタルバー表示が「15℃」付近から、表示が切り替わらないことを確認。 原因調査の過程で、当該調節計電源を切/入実施の際、調節計の計器異常を示すランプが点灯し、デジタル指示値の点滅および測定値・設定値・操作量の指示値の消灯を確認。 なお、当該調節計にて温度調整弁の制御はしておらず、当該調節計故障による影響はなし。 また、当該設備の系統温度は他の温度計で確認可能であり、系統の監視に影響なし。 今後、関係箇所と調整し、当該計器を使用しない運用を検討。	GⅢ	4月13日

